

2013年(平成25年)5月23日 木曜日

話 題 の 本

本のご購入・内容の
お問い合わせは各出版社へ
その他の、お問い合わせは
☎03(5644)7266

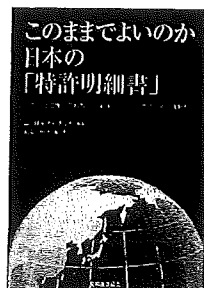


このままでよいのか
日本の「特許明細書」
矢間 伸次 編・著
A5判 216頁
定価2,100円
送料290円

このままでよいのか日本の「特許明細書」技術の優位性が守れない企業はグローバル世界で生き残れない知的財産活用研究所 編集 矢間 伸次 編・著

「特許明細書」とは、発明技術の説明書のことで、本書は、中堅・中小企業に対し「世界で通用する特許明細書をつくらう」と提案する。せっかく素晴らしい技術を武器に海外で企業展開するにしても、その特許技術の難解な「日本特許明細書」が災いし、外国語への翻訳の段階で世界に伝わりにくい紙くず同然に留まってしまつた。グローバル社会での特許紛争となれば、つまるところ言語の戦争となる。日本特許明細書の現状を把握し、改善する時期だ。要するに外国語への翻訳が正確にでき、明快な分かりやすい文章で書けるはず。

発明推進協会の本 2013.5



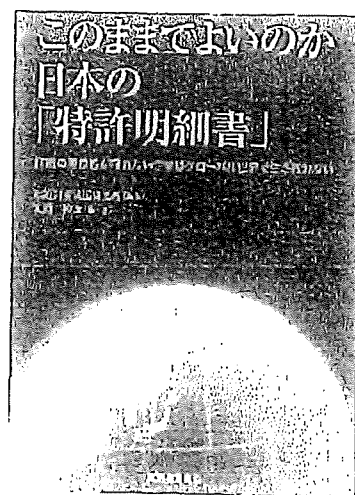
特許明細書のグローバル化には!

このままでよいのか日本の「特許明細書」

知的財産活用研究所 編集
矢間 伸次 編・著 A5判 216頁
定価2,100円 送料290円

「日本特許明細書」は外国語への翻訳が難しく日本の「国益」を損ねています。特許明細書は発明技術の説明書であって特殊な文書ではありません。外国語への翻訳が正確にできる、明快な分かりやすい文章で書けるはず。グローバル社会での特許紛争になれば、つまるところ言語の戦争となります。我々日本人は世界へ物事を伝える言語に対して、もっと関心を持つべきです。

ISBN978-4-8271-1206-1

このままでよいのか
日本の「特許明細書」矢間伸次・著
知的財産活用研究所 編

「文明日本語」の構築、普及提言

安倍政権が進める経済政策「アベノミクス」の三本の矢のうちの第3の矢「成長戦略」に欠かせないものに「知財戦略」がある。莫大^{はくたい}な予算を投入し科学を発展させても、それらを保護、活用する術が稚拙なら優位性は保てない。著者は、知財戦略の基本となるわが国の特許明細書の問題点を指摘した上で、英語のように論理明確な表現法を「文明日本語」とし、その構築と普及を提言する。

日本企業が書く特許明細書は、主述が曖昧で情緒的かつ難解。海外出願する際には誤訳されたり、意味不明な文章となり、権利も消滅しかねない。「特に中国語への翻訳は惨憺^{さんたん}たる状況にある」と警鐘を鳴らす。

▷2100円、発明推進協会